

話題になる

イベントの作り方

イベントや講座を企画しても、人が思うように集まらなかったことはありませんか？
 どうすれば、参加者が増え、満足度が高くなるのか…。そのコツを知りたい方は、ぜひご参加ください。



講師：ハッタケンタロウ（アースデイ東京
 タワー・ボランティアセンター事務局長）
 日時：9月25日（水）12:00~14:30
 場所：市民交流センター 第2・3会議室
 対象：市民活動団体、市民活動に関心のある方
 定員：50人
 申込み：9月24日（火）までに電話、FAX、Eメール又は直接市民協働課へ

ひと夏の体験？！

私は大学の先生の紹介で市民協働課にインターンシップとして5日間、参加させて頂きました。ここに来た時はすごく緊張して、本当に自分にできるのかと、不安に思っていました。しかし、周りの人たちが非常に親切で面白くて、とても楽しく無事に終えることができました。ある人の話なのですが、市民の人と話すのが大事と言って、私も共感しました。こういう課が増えていけば、暮らしやすいまちになっていくだろうなと感じました。



関東学院大学 法学部法学科
 3年 福川 晃平

9月 フールセンター カレンダー

※開館時間は、9:00~21:00
 総合窓口受付 ~20:00/プール入場 ~20:30

日	曜日	プール専用使用コース		交流センター
		10~12時	13~15時	会議室関連
1	日			10月分先着予約開始
2	月		2コース	
3	火	休館日		
4	水	返子小授業 9~13時 入場不可 (5コース)		11月分抽選申込受付期間
5	木		2コース	
6	金			
7	土		2コース	
8	日			
9	月	返子小授業 9~13時 入場不可 (5コース)	2コース	11月分抽選結果発表
10	火		2コース	
11	水			
12	木		2コース	
13	金			
14	土		2コース	
15	日			
16	月		2コース	
17	火	休館日		
18	水			
19	木		2コース	
20	金			11月分抽選結果発表
21	土		2コース	
22	日			
23	月		2コース	
24	火		2コース	
25	水	2コース		
26	木		2コース	
27	金			
28	土	臨時休館(9~15時) (防災訓練のため)		
29	日			
30	月		2コース (~15:40)	
10/1	火	休館日		
2	水	2コース	2コース	11月分先着予約開始
3	木		2コース	
4	金			

- ・返子小授業の日は9~13時まで入場不可です。
- ・専用使用がある時間帯は3コースのみの使用となります。
- ・小学校3年生以下は、保護者などの付添が必要です（付添1人につき2人まで）。



「ずし60's」スタートにあたって

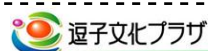
第1次ベビーブーマーの世代が現役を退いて大挙して地域に帰ってくることを、「団塊の世代の地域デビュー」という言葉で頻りに耳にしますが、現実には地域デビューを果たして地域で活動する人はそれほど多くはないようです。地域に関わることに消極的な理由は定かではありませんが、我が返子においても同様な状況であるとのこと。

このなかで子どもも巣立ち、そろそろセカンドステージを迎える60歳前後の世代で地域の担い手となる人材をいかに発掘するかという命題のもと、「ずし60's」（ずしろくじゅうず）事業がスタートしました。地元で「あったらいいのに」を楽しく話し合い、「やってみるための企画会議」を行い、地域の関わりを楽しみながら、活躍のステージづくり、仲間づくりを行う事業です。「ずし60's」事業で何を発見し、どのような出会いがあるのか楽しみにしています。



返子 60's
 仕掛け人
 石井 達郎

海があって、緑豊かな街、返子。私は大好きです。仕事が一段落し、この街で過ごす時間が増えた今、大好きな街なのに、知らない事の多さに気付きました。そんな時、60'sに誘っていただきました。なんだかよくわからないうちに、まずは知り合いが増えました。いろいろな話を伺っているうちに、街のことが少しわかってきました。まだ生まれたての60'sの中で何が出来るかわかりませんが、大好きな街で何か出来るワクワク感があります。特に女性の方が集まってくれと嬉しいと思っています。女性が元気だと街が元気になる！私はそう思います。返子 60's 仕掛け人 志村 好枝



市民交流センター

〒249-0006 神奈川県返子市返子 4-2-11
 TEL 046-872-3001
 FAX 046-872-3003
 kouryu@city.zushi.kanagawa.jp

ルワンダの悲しみと希望と

アフリカのルワンダで義足を作っている友人から、ときどき便りが届きます。

去年の暮れ、義肢製作所に一人の患者さんがやってきたそうです。30歳前のうら若き女性、左手が親指しかない。うつむいて話し、人の顔を見ようとしません。よく見ると、顔には古い傷があり、耳も半分しかない。1994年、ルワンダで起きた大虐殺の時、民兵に襲われたのです。当時、彼女はまだ10歳前後。どんなに怖かったことか。それから19年間、体と心に傷を負いながら、どんな思いで生きてきたのか。

先日、日本の人たちの支援で、彼女に義手が贈られたそうです。アフリカ人の肌の色に合わせて作った義手は、彼女の手にぴったり。その義手をはめた彼女の言葉は、「この爪にマニキュアを塗ってもいいの？」年頃になってからずっと憧れていたのかもしれない。そして、「私も、これを作る勉強をしてみたい」と。義手を使う人の心がわかる、素晴らしい技師になるのではないのでしょうか。

遠くアフリカから届く便りを読むたびに、つい忘れがちな大事なものを思い出し、自分も頑張らなければという気になります。



ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
<http://www.onelove-project.info/>

市民協働コーディネーター 木下理仁

ボランティアセンター 便り

ご存じですか？

ボランティア活動保険

ボランティア活動保険は、社協の会員と、社協のボランティアセンターに登録しているボランティア・ボランティアグループが加入できる保険です。

金額は年額300円~690円（自己負担）で日本国内におけるボランティア活動は全て対象となりますので、重複して入る必要はありません。

東日本大震災被災地で活動される返子市民の方は、必ず出発前日までにボランティア保険に加入してください。被災地までの移動中の事故も補償対象となるので安心です。

返子市福祉会館と交流センター内のボランティアセンターで加入手続きができます。

開設日・時間：月曜日~金曜日 9時~17時
 （交流センター休館日・祝日は除く）

連絡先：電話 046-873-8037
 FAX 046-872-2519
 Eメール vc@zushi-shakyo.com



防災訓練やいます!

市内全域で



津波避難訓練

9月1日(日)
10:00~11:00

交流センターは避難ビルに指定されているため、当日地域の人達が交流センターの3F(逗子小体育館)に避難してきます。皆さまのご理解をお願いいたします。

当日センターにいる皆さんも、是非参加して、いざという時に備えてください。



安全行動の①⇒②⇒③



総合防災訓練

9月28日(土)
9:00~12:00

訓練想定

三浦半島を震源とする大規模な地震(マグニチュード7.2 市内最大震度7)の発生により、市内では火災、家屋倒壊等が発生し、人的被害及びライフライン施設の被害が発生したことを想定します。

★交流センター(逗子小学校)では・・・

- ・避難所運営訓練
- ・緊急物資輸送訓練
- ・通信訓練
- ・水消火器訓練
- ・ジャッキ訓練
- ・AED訓練
- ・給水訓練
- ・プロパンガス供給訓練
- ・煙体験訓練
- ・防火衣試着

などの訓練が行われます。

みんなで参加してねっ!



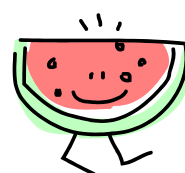
防災訓練のため、プールを含め交流センターは9時から15時まで閉館し、15時から開館します。

仲間! 募集中!!

逗子30'sプロジェクトでは、7月27日(土)に「ほたるのための川掃除&みんなで割ろうスイカ割り」というイベントを実施しました。

田越川上流は近年ホタルが群生し、沼間小学校区地域連合会(以下連合会)で沼間をほたるの里にしようという取り組みを行っています。その中で沼間2丁目と4丁目の一部の地域を30'sで任せられ、初めての掃除とスイカ割りで楽しんじゃおうと企画しました。

集まったのは子どもも含めて25名。ほたるを気づかいながら30分掃除をし、たくさん人の大小のゴミが出て、川が見違えるほどきれいになりました。



そのあと市民協働課の方が「スイカマン」に変身し、地元の八百屋さんで連合会から頂戴したスイカとあわせ、スイカ&スイカマン割りに発展!子どもも大人もスイカ割りを楽しみ、乾いた喉をスイカで潤す楽しい機会となりました。



今後も引き続き連合会と協働で、年に数回川掃除と楽しい取り組みを行い、顔見知りを増やしながら故郷を作っていく活動を続けていきたいと考えています。(逗子30'sプロジェクト 服部 誠)

「ずし60's」プロジェクトは7月の参加者公募を経て、7月28日に顔合わせを含む第1回の企画会議を行いました。初回の参加者数は19名(男性12名、女性7名)で当プロジェクトの説明、参加者紹介、今後の事業スケジュール等を話し合いました。(写真↓)

今後は8月、9月、10月の最終日曜日に企画会議を行います。

当プロジェクトの対象プログラムはこれから参加者で議論し、決定しますが、現在候補として浮かんでいるものは、例えば



Let's enjoy Zushi together!



このロゴマークもメンバーで作成しました!



「①お洒落なたまり場づくり ②野菜づくりから地域を変える ③ずしタニタ食堂(健康的な食を求めて)」等が上がっています。

初回会議の前の7月15日に「お洒落なたまり場」の視察を兼ねて、葉山カレッジに有志が集まり、BBQパーティーを行い、ゴージャスな施設で意見交換を行いました。(写真↓)



ATM(明るく、楽しく、前向きに)をモットーに、有意義な時間を過ごしたいと考えています。多くの皆様の参加をお待ちしています。(逗子60'sプロジェクト 石井 達郎)

お知らせ!

光化学スモッグ注意報・警報!



光化学スモッグ注意報・警報の発令があった場合

センター正面入り口駐輪場前に「注意報(警報)通報板」を設置します。屋外での激しい運動はやめて、すみやかに屋内運動に切り替えましょう。

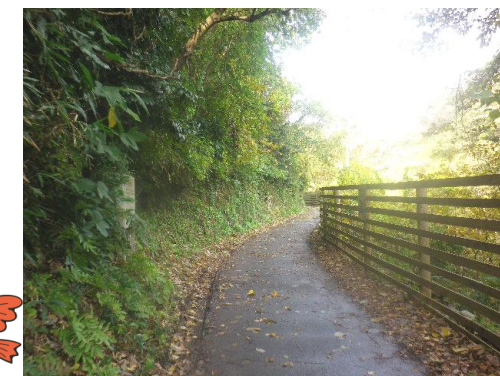
光化学スモッグの被害を受けると、身体にこのような症状があらわれます。

- ・目がチカチカする、目が痛い、涙がでる
 - ・のどが痛い、せきがでる、息苦しい
 - ・頭痛 ・吐き気がする
- ※ 特に被害を受けやすいのは、眼疾患、呼吸器系疾患、甲状腺機能亢進症及びアレルギー体質等の子どもです。



ここでは、市民の方からのいろいろな情報を提供していきます!

久木の里山



昔々、久木9丁目の奥に釣り堀がありました。釣り堀は閉鎖され、今は「久木の溜池」と呼ばれて、その姿を残しています。

溜池の脇の山道を入ると「逗子にこんな場所か!?!」と驚くような、深い緑に囲まれた里山の景色が広がります。後に山を背負った池の水面を見ながら進むと、200mしか離れていないところに、交通量の多い県道やJRが通っているとは信じられないほど静かで、鳥やリスの泣き声と木々が風に揺れる音だけが聴こえてきます。昔話に出てくるような、どこか懐かしく牧歌的な風景です。

この辺りには「名越緑地」という名前がつけられています。「海の街」として有名な逗子ですが、豊かな山の顔も実に魅力的です。

(久木 本藤)